

## 特殊詐欺の認知状況(令和2年4月末) ~4月は1件の被害を認知~

### 1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和2年4月末現在)

- 被害認知件数は6件 (前年同期比-5件)
- 被害額は約1,578万円 (前年同期比-約1億3,779万円)

### 2 令和2年4月中の認知状況

- 被害認知件数は1件 (前年同月比-1件)
- 被害額は910万円 (前年同月比+約800万円)
- 手口は
  - ・ 訴訟関係費用等名目 1件

### 3 4月の特殊詐欺予兆事案

4月は「もってこいネットワーク通信第20号、同第23号」でお知らせしたとおり、県内で新型コロナウイルス感染症の給付金支給に関して、不審人物が個人宅を訪問する事案が発生しました。

現在のところ、県内では新型コロナウイルス感染症に関する特殊詐欺被害の発生はありませんが、今後も同感染症に便乗した不審電話や不審者の訪問が予想されます。

被害に遭わないために、

- ★ 在宅時でも留守番電話に設定する
- ★ 迷惑電話防止機能のある電話機及び周辺機器を設置する
- ★ 個人情報他人に教えない
- ★ 通帳、キャッシュカードは絶対に渡さない

などの防犯対策をとりましょう！



### 4 被害状況など

~被害者の年齢・性別構成~

年齢	令和2年4月末(人)		
	男性	女性	計
0 ~ 19	-	-	-
20 ~ 29	-	-	-
30 ~ 39	-	-	-
40 ~ 49	-	-	-
50 ~ 59	1	-	1
60 ~ 64	2	-	2
65 ~ 69	-	-	-
70 ~ 79	1	-	1
80 ~ 89	1	1	2
90 ~	-	-	-
合計	5	1	6
うち65歳以上の高齢者	2	1	3

~特殊詐欺全体の被害金交付形態~

交付形態	令和2年4月末件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	1
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	1
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	3
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	-
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	6